

平成29年度 第1回宮代町健康増進計画及び食育推進計画策定運営委員会会議録

開 催 日 時	平成29年10月6日（金）午後1時30分～午後3時00分	
開 催 場 所	宮代町保健センター2階会議室	
出 席 者	委 員	山口委員長、吉田副委員長、鬼久保委員、大嶋委員、島村委員、大浜委員、加藤委員、古谷委員、泰楽委員、重田委員、須藤委員、竹本委員
	事務局	南沢副町長、小島健康介護課長、竹花保健センター所長、星野主幹、浜津主査、山岸管理栄養士
欠 席 者	鈴木委員、内田委員	
傍 聴 者	なし	
配 布 資 料	次第、健康増進計画及び食育推進計画策定運営委員会資料	
会 議 録 作 成 者	星野	

1. 開 会（進行：星野）

2. 委嘱状授与

副町長あいさつ

3. 議 事（進行：会長）

1) 平成29年度宮代町健康増進計画及び食育推進計画について

（事務局より説明）

－質疑応答－

委 員： この委員会で得られたコンセンサスというのは町政にフィードバックすることを前提にしているのか。

事 務 局： 計画に委員のみなさんの意見を反映させて今後計画の事業展開に役立たせてもらう主旨である。

委 員： アンケートをとって分析というのはこの委員で話合って考察するのか。

事 務 局： データ集計し分析をこちらで行い一つの結果を出すので、それをまた審議してもらう。こと委員会について今年度はあと1回の開催を考えているが、来年度は回数を多く設定して、計画を実行するにあたり、いろいろな部分で委員の意見を受け入れたいと考えているので、4～6回ぐらいの開催を予定している。

委員： アンケート対象者の地域性はあるか。

事務局： 資料4の計画策定アンケートの概要を説明させていただく。すでに御覧いただいているように調査票はすでに配布させていただいた5種類になる。内容については、資料2の埼玉県健康長寿計画及び食育推進計画の指標の項目のなかで、ほかの調査等で把握できるものを除いてアンケートでしか把握できないものを中心に作成している。また、自殺予防のための計画も近々策定しなければならないことから自殺予防のアンケートも加えさせてもらった。アンケート全体で2,000人に実施する。その内訳はこの表のとおりで、成人は20歳～79歳で無作為抽出となっている。未成年が16歳～19歳で250人、町立中学校2年生250人、町立小学校5年生250人、5歳の幼児250人を対象に実施する。なお調査方法としては、成人、未成年、幼児は郵送での配布と回収となる。小学生中学生については、各学校の協力によって、各学校での記入と回収を行う予定である。郵送と回収の予定日だが、アンケートの発送は11月2日木曜日、礼状兼催促ハガキの発送を11月14日火曜日、アンケートの第1回目の回収日は11月15日水曜日、最終的な回収日は11月30日木曜日とさせていただく。

委員： 成人が1,000人というと宮代町の人口からいうとどれくらいの率なのか。

事務局： 統計学的にいうと全体で2,000人とすれば全体の意向が概ね把握できるといわれているので、年齢階層別に人数を2,000人ということではなくて、全体で小さいお子さんから高齢者までなかで2,000人。そのなかで年齢階層別に分析していく。そういう形でやらせていただきたい。現在の人口34,000人いるので、そのなかのサンプルとして2,000人ということで、さらに回収率がどの程度回収できるかというところもある。担当から説明したように、礼状と併せて催告を出して回収率を高めて行こうという考えている。小中学校の児童生徒については、学校の協力のもと配布回収を行うので、ほぼ概ね100%回収できると考えている。

委員： 無作為の抽出について男女の比率や地域的に偏りはしないのか。

事務局： 男女については特にしていないが、年齢は10歳刻みで万遍なく全年齢の方に行くようにする。国民健康保険で医療費の分析をするため地域性をみようとしたりしたときに、宮代の場合地域性がほとんど見受けられない。都市部だと農村部と都市部との差がでるようだが、宮代の規模だとちょっと地域性による偏りはでないようである。

委員： 中学2年生が対象であるが、2クラスしかないけれども、1年生、2年生、3年生1クラスずつを対象にするのもあると思うが如何か。

事務局： 学校によって1クラス30人だったり40人だったり偏りがあると思うが、事務局で想定しているのは、中学生で250というサンプル数と考えているので、町内3校にうまく250を振り分けることができればと思っている。

数については教育委員会に再度確認する。

委員：アンケートの内容について、小中学生の間12-1の質問で飲料については、国の基準に基づいているのか。

事務局：これは、国の指標ではなく宮代町で独自に調査したい項目として盛り込んだものである。

委員：今、小学校5年生を対象におやつを指導をしていて、飲料については野菜ジュースとか果汁ジュースも100%のものだとかいろいろなものがあるので、この辺は詳しく書いたほうが良いと思う。成人のほうも、飲料がアルコールだけというのが疑問である。スポーツドリンクや炭酸飲料があっても良いのではないか。

事務局：アルコールについてここで聞いている趣旨は、栄養の観点ではなく、アルコール依存という観点で設問を考えた。成人の間13で糖分の多い飲料について、頻度を何回設問を設けている。

委員：小学生用の調査票で、問16の設問で「4 フッ素を塗布する」とあるが、小学校5年生にとって「塗布」という表現が難しいと思うので、表現を変えてはどうか。

事務局：了解した。

委員：幼児用のアンケートで問5の野菜を1日どれくらい食べるかという設問に「1日どれくらい」の回数の基準はなにか。例えば、食事の時にでていたニンジンをも1個食べたら1回なのか、大根を朝と夜に食べたから2回なのか。成人のアンケートでは、小鉢1つで70gとして1日3鉢程度とあるのに幼児に関して1回、2回というのはどういう意味か。質問に対する答え方がわからない。1食2食にしたらどうか。何食というほうが良いのではないか。

事務局：「回」より「食」に表現を改める。

委員：幼児用のアンケートの問7で「10 パン類」とあるがここで示すパン類というのは、菓子パンのことをいっているのか。それともパン類全部をおやつとして食べるというふうに表現するのかどちらなのか。

事務局：3食以外に間で食べているものを総称しておやつとみなしている。

委員：問7でおやつの種類を聞いているが、目的としてはどういう種類のものをいっぱい食べているかを聞きたいと思われる。それよりも回数、量、時間とかおやつと食事がいっしょくたになった食生活の子どももいるので種類を聞く意味がどれくらいあるのか。ここまで細かく分ける必要があるのか。

事務局：回数や頻度を聞いたほうが良いのか、それとも中身を重視したほうが良いのか検討する。

委員：幼児用の問4-2で、「3 ダイエットのため」とあるが、幼児でダイエットはあまり考えられないので、「家族が用意してくれない」とか「家族がいなくて食べられない」などの選択肢があっても良いのではないか。

事務局：ダイエットのためは削除する。

委員：自殺のことも含めるのであれば、無記名で守秘義務という提示があれば本当のことを答えてくれると思うが如何か。

事務局：幼児用は特に親御さんをお願いすることになるので、このアンケートの趣旨は理解していただけたらと思う。そのうえで表の成人の上のほうに無記名で回答していただく、それとあくまでも全体の回答は統計的に処理するというところで個人情報がかかるような標記の仕方はしないということは断り書きをしておく。小中学校のアンケートはそのような文面はないが、学校を通じてきちっと対処する。必要であれば文面も用意する。また、無作為抽出なので、だれにアンケートを出したのかは担当職員しかわからない。それ以外の一般の方々にはお教えしないということで進めていくのでご理解いただきたい。

委員：ここのところを強調したいところにアンダーラインを引くとか、目で見てわかるような標記の仕方にしてほしい。

事務局：強調するということで了解した。

委員：小中学校用のアンケートに見出しがついてないので、幼児用と同じように見出しをつけてもらいたい。

事務局：了解した。

委員：問16の設問「歯のことで気をつけていることがあるか」の選択肢に「3 定期健診を受ける」とあるが、小中学生は学校で歯科検診等を実施しているのが、それは定期健診をやっていることになるのか。

事務局：小中学生と幼児は制度上定期健診を100%実施することになっているので、この項目は省いても良いと思うので削除する。

委員：小中学生用、未成年用には家族構成についての設問はあるが、幼児用にはない。3世代なのか親子だけなのか家族構成によっては出てくる数字が変わってくると思われるので、幼児用についても入れたほうが良いのではないかと。

事務局：幼児用の家族構成は紙面のスペースの都合で入れなかったが、入れられるよう検討していく。

委員：中学生、未成年（高校生）のアンケートの間4の家族構成を問う設問でこんなにたくさんのスペースをとらなくても、例えば「1 父、2 母」を「1 父母」、「3 兄」、「5 弟」を「3 兄弟」、にするとかすればスペースを縮小できるのではないかと。

委員：一人親の人もあるわけで。そういう場合もあるからこのように分かれている。最近では顕著に多い。それは全国的な傾向である。こういうことは具体性がある、これくらい分かれていますと良いと思う。答えられない人のことを思ってこういう設問になっていると思う。最近では教育上そのような傾向がずいぶんあるから。食事も全部子どもと親がすべて別になっているという、学校の運動会もしかり。寂しい思いもしている人がいる。

これからは障がい者などそういう人にスポットを当てていかなければならない。

事務局：家族構成を問う設問については委員の意見を踏まえて検討していく。

本日、委員の方々からでた意見を踏まえてアンケートを作成していく。その後意見がある場合は、10月13日までに連絡をいただきたい。